

(付託要領 別記様式第1号)

苦 情 処 理 申 請 書

群馬県知事 あて

下記のとおり群馬県消費者苦情処理委員会における苦情の処理を申請します。

申請年月日		平成 年 月 日	
申請人	本人	住 所	(法人にあつては主たる事務所の所在地) [電話]
		氏 名	(法人にあつては名称、代表者名) 印 男・女 (年齢 歳)
	代理人	住 所	[電話]
		氏 名	印 本人との関係[]
被申請人 (相手方)	住 所	(法人にあつては主たる事務所の所在地) [電話]	
	氏 名	(法人にあつては名称、代表者名)	
請求の内容等			
請求の理由等 (苦情の理由)			
添付書類等			

苦情処理申請書（別記様式第1号）記載上の注意事項

1 申請人について

申請人の氏名、住所、電話番号等を記載する。被害者が複数になる場合などで数人が共同して申請する場合は、申請者には代表者〇〇〇〇他〇名別紙のとおりと記載し、別紙に各々の氏名等を記載するとともに代表者名を明記する。

2 代理人について

代理人が手続き等を行う場合は、代理人の氏名、住所、電話番号等を併せて記載する。

3 相手方について

相手方の氏名、住所、電話番号等を記載する。相手方の居所が不明で連絡が取れない場合は、処理（あっせん又は調停）ができない。

4 請求の内容について

請求内容は、相手方にどのようなことを求めているのかをわかりやすく記入する。損害の賠償を求めるものであれば具体的に「〇〇万円を求める」とする。金額が決められなければ「被害相当額の損害賠償を求める」としてもよい。

また、損害賠償ばかりでない場合には「適切な解決を求める」でもよいが、できるだけ具体的な請求内容を記載する。

5 請求の理由について

請求の内容の根拠となる事案の概要を記入する。いつ、どこで、どのようにして事故が生じたのか、また、どのような損害が生じたのかを記載する。

更に、製品名、取得時期についても記載する。

6 相手方との交渉経緯について

当事者が独自に行った相手方との交渉経緯についても請求の理由の一つとして記載する。なお、消費生活センターに相談して行った交渉経緯については、付託書の添付資料（相談カード）等に記載すれば、申請書には記載する必要はない。

7 添付書類について

請求の内容や理由を根拠づける証拠書類等（診断書、状況写真、現場見取り図、説明書、保証書、修理見積書等）を添付する。